

満願寺宝篋印塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	まんがんじほうきょういんとう
所在地	倉敷市真備町辻田
指定年月日	昭和31年4月1日
解説	鎌倉時代末から南北朝時代(14世紀ごろ)の作と推定される宝篋印塔。花崗岩製で、高さは3.15mを測る。元来この地には満願寺という真言宗の寺があったが、高梁川の水害で寺は流失し、洪水後は再建されずに近くの森泉寺に移動した。この宝篋印塔も土中に埋没していたが、享保9年(1724)に発見され、満願寺跡に残されている。
アクセス方法	
公開状況	外観のみ
設備	
備考	